

説 明 書 : 接種前に必ずお読みください。

高齢者肺炎球菌ワクチンの接種をご希望の方へ



令和5年4月1日～令和6年3月31日実施

●肺炎球菌とは

肺炎球菌は主に気道の分泌物に含まれる細菌で、唾液などを通じて飛沫感染し、気管支炎、肺炎、敗血症などの重い合併症を引き起こすことがあります。

肺炎は日本人の死亡原因の第5位となっています。また、日常的に生じる成人の肺炎のうち1/4～1/3は肺炎球菌が原因と考えられています。

●予防接種の効果

肺炎球菌には90種類以上の型があり、肺炎球菌予防ワクチンを接種すると、そのうち成人でも病気を引き起こしやすい23種類の型に肺炎予防効果が示されています。ワクチンを接種することで肺炎球菌による肺炎の重症度と死亡のリスクを軽減させます。

●注意事項

5年以内に再接種を実施すると、初回接種よりも注射部位の疼痛、紅斑、硬結等の副反応の確率が高くなり、程度も強く発現することが報告されています。そのため、5年以内に23価肺炎球菌ワクチンの予防接種は行わないでください。

過去に23価肺炎球菌ワクチン（ニューモバックス[®]NP）の接種を受けたことがある方（公費、自費問わず）は、定期予防接種の対象外となり、全額自己負担となりますので、ご注意ください。

●接種回数

1回

●接種が不適当な方（予防接種を受けることが適当でない方）

- ① 明らかな発熱を呈している方
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方
- ③ 接種液の成分によってアナフィラキシーを呈したことがあることが明らかな方
- ④ 上記に掲げる方のほか、予防接種を行うことが不適当な状態にある方

●接種要注意者

- ① 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患を有する方
- ② 予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた方及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある方
- ③ 過去にけいれんの既往のある方
- ④ 過去に免疫不全の診断がなされている方及び近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ⑤ 接種液の成分に対してアレルギーを呈するおそれのある方

●接種後の注意

- ① 接種当日は激しい運動を避けてください。（接種当日の入浴は差し支えありません。ただし注射したところをこすらないでください。）
- ② 接種後に発熱したり、接種した部位が腫れたり、赤くなったりすることがありますが、一般にその症状は軽く、通常、数日中に消失します。
- ③ 接種後は自らの健康管理に注意し、もし、高熱や体調の変化、その他局所の異常反応に気づいた場合は、ただちに医師の診療をうけてください。

●予防接種による健康被害救済制度

定期の予防接種によって引き起こされた副反応により、医療機関で治療が必要な場合や、生活に支障がでるような障害を残すなどの健康被害が生じた場合には、予防接種法に定められた救済制度があります。（制度を利用するためには、一定の条件があります）

(問い合わせ先)

みやま市 健康づくり課 健康係 電話 0944-64-1515 (直通)